

言語能力向上推進事業報告（その2）

児童・生徒の夏休み期間を活用して、図書館の整備をすすめました。

＜二学期の充実した活動を目指して、外部スタッフのみなさんと打合せ＞

8月8日（木）、二学期も楽しい読書活動を充実させるために、外部スタッフのみなさんと打合せをしました。

一学期の読み聞かせ出前授業は、小学部⑧グループ、中学部①④グループ、高等部⑤グループの4つで行いました。

高等部では、社会見学の事前学習を兼ねて、「落語」をテーマに実施しました。楽しい落語を軽妙な語りで紹介していただき、一気に当日の社会見学（寄席観覧）が身近なものになったそうです。

さて二学期の読み聞かせ会は、つばさ在宅訪問学級のスクーリングの日に合わせて図書館で実施したり、10月5日（土）の秋まつりの特設ステージ（スクールバス駐車場）での実施を計画しています。また、本校の各学部の学習グループでも数回計画中です。

お楽しみに！



向かって右から 佐藤さん、荒木さん（昨年度から読み聞かせの出前授業をしていただいています。）、渡辺さん（前号で紹介）、生井教諭

新しい本を注文しています。

☆二学期も新しい本との出会いができるように本をたくさん注文しました！
準備ができ次第、図書館や1・2階の図書コーナーに並びます。
もちろん貸し出しもします。

<電子図書 “わいわい文庫” の貸出し準備完了！>



“わいわい文庫”は、伊藤忠記念財団が、障害がある子供たちに限定して著作権の問題をクリアにして学校に配布して下さった電子図書です。

“わいわい文庫”の良さは、読字が難しい方でも、ページをめくることが難しい方でも読書を楽しむことが可能なところです。

楽しむ方法は、2つあります。一点目は、ipad や iphon や ipod に VOD (Voice Of Daisy サパツク社¥2300) というアプリをインストールしてから本のデータを取り込む方法。

二点目は、写真の CD-R をパソコンで再生する方法です。

学校の図書館では、まずは左の写真にある CD-R を作り、貸し出す準備を整えました。(残念ながらパソコンは貸し出せません。) 御自宅にパソコンがある場合には、この CD-R を挿入すれば、自動的にソフトが起動して、DVD を見るような感じで本を読み上げてくれます。簡単な説明パンフレットも貸出しの際に持ち帰れるように用意しましたので参考になさってください。

教室でも“わくわく文庫”を活用した授業が行われると思います。どう活用したら、音声読み上げソフトの一種である電子図書が魅力的な教材になるかは、これからの研究課題のひとつです。

